

第5学年 国語科学習指導案

日 時 平成18年9月1日(金) 5校時
児 童 男9名 女8名 計17名
指導者 木 下 克 美

- 1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう(光村5下)
教材名 「ニュース番組作りの現場から」(清水建宇 説明文)
「工夫して発信しよう」

2 単元設定について

(1) 単元について

第5学年及び第6学年における「読むこと」に関する目標は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」ことである。また、指導内容に「イ 目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること」「オ 必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること」が掲げられている。

本単元は、「ニュース番組作りの現場から」と「工夫して発信しよう」の2つの教材で構成されている。「ニュース番組作りの現場から」は、ニュース番組作りの特集の作り方について、時間に沿ってまとめられた文章であり、時系列に沿って、大事な事柄を読み取る文章に適していると言える。また、ここで読み取ったことが、その後の「工夫して発信しよう」の手引きともなってくるため、目的をもって読み取りを行うのに適した教材であると考えられる。

(2) 児童について

児童は、これまでに5年上「サクラソウとトラマルハナバチ」で、文章を的確に読んで、要旨や筆者の主張をとらえるとともに、筆者の考えに対して自分の意見をもつ学習を行ってきた。そして、各段落の中で、問の文やそれに対する答えの文を押さえること、また、接続語や重要語句に注意して、段落の内容を読み取ることはできるようになってきている。しかし、指示語の示す内容が文章を読んでいく上で大切だということとは分かっているが、何を示しているのか読み取れない児童も少なくない。また、段落どうしのつながり、つまり文章構成を考えながら読んだり、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたりする力は、全体的にまだ不十分であると言える。

(3) 指導にあたって

指導にあたっては、教材文から読み取ったことを生かして自分たちで伝えたいことを発信する意欲と目的をもたせた上で学習を進めさせたい。説明文の読み取りでは、音読、書く活動を取り入れながら、確かに読み取る力をつけていきたい。

第一次「つかむ」の段階では、教材文学習のあと、実際に情報を発信する活動を確認し、児童が目的をもって学習できるようにする。

第二次「深める」の段階では、事例をもとに、各過程の大切な点や工夫している点、報道スタッフの意図や願いを読み取っていく。指示語の内容を明らかにさせたり、段落ごとのキーワードをつなげて文章構成を考えたりする活動を通して、要旨をわか

りと捉えさせたい。また、番組作りの過程ごとに読み取った大切な点や工夫している点を、言葉を補いながらノートにまとめる活動を行う。そして、ここで読み取ったことと筆者の考えをたどって、最後には要旨にまとめる活動を行う。それらを振り返りながら、実際に発信する活動へとつなげていきたい。

第三次「味わう」の段階では、目的に応じた情報の配列・編集等についての理解を深めることをねらいとし、どのような願いをもって、誰に対してといった、目的意識、相手意識を明確にして学習を進めていきたい。また、ニュースの発表会を開き、他の人の願いや考え方を知るとともに、ニュース番組の見方についても考えを深めさせていきたい。

3 単元のねらい

(1) 単元の目標

文章構成をつかみ、要旨をとらえて、ニュース番組がどのように作られているかに興味をもち、伝えたいことと伝える方法を知る。

伝えたいことをどのように伝えるかをグループで協力して考え、形にして発信する。

(2) 指導目標

【関心・意欲・態度】

- ・ ニュースを探して伝えることに関心をもち、伝え方や内容を工夫しようとする。

【書くこと】

- ・ 目的や相手を意識し、書く必要のある事柄を整理して書くことができる。(書イ)
- ・ 集めた材料を、目的に合わせて整理し、効果的に配列しながら書くことができる。(書工)

【読むこと】

- ・ 番組作りの大切な点を的確に押さえながら、報道スタッフの願いなどを読み取ることができる。(読イ)
- ・ 自分たちが番組を作るために必要な事柄を時間の順序に従って段階ごとに読み取ることができる。(読オ)

【言語事項】

- ・ 文章中のキーワードや重要語句について辞書を利用して意味や使い方を調べることができる。(言ウ(ウ))

4 指導計画と評価規準(本時5/全14時間)

過 程		学 習 内 容	評 価 規 準
第 一 次 つ か む	第1時	・ テレビのニュース番組を見た経験を話し合い、教材文を読んで感想をもつ。	関 ニュース番組について自分が感じていることを進んで話している。 言 重要語句の意味を調べることができる。
	第2時	・ 学習の計画を立てる。	関 ニュースの伝え方や内容に関心をもち、学習計画を立てようとしている。
第 二 次 深 め る	第1時	・ 全文を読み、特集ができるまでの全体の流れをつかむ。	読 書かれている内容について概略を読み取っている。

	第2時	・事例の取材内容や取材をするときの大切な点を読み取る。	読 取材をするときの大切な点を読み取っている。
	第3時 本時	・事例をもとに、撮影、編集、原稿作成、放送での大切な点や工夫している点を読み取る。	読 各過程で大切な点や工夫している点を読み取っている。
	第4時	・番組作りの努力や願いについて読み取り、要旨をまとめる。	読 「特集」ができるまでの過程での大切な点を落とさずに、要旨をまとめている。
第三次 味わう	第1時	・テーマを決める。	関 情報を発信したいという願いをもち、相手意識、目的意識を明確にし、企画を考えている。
	第2時	・取材の内容を決める。	
	第3時 第4時 第5時 第6時	・伝えたいことを中心に考えて、取材、編集、原稿作成をする。	書 目的に応じて、必要な材料を集めている。 書 教材文から学んだことを生かして編集したり原稿を書いたりしている。
	第四次 広げる	第7時 第8時	・作った番組を見合い、感想を交流する。

5 本時の授業

(1) 本時の指導

本時は、第7段落から第11段落までの5つの段落から、事例をもとに、撮影、編集、放送原稿、放送の過程の、工夫している点や大切な点を読み取っていく。読む活動では、「その」「それは」などの指示語や「工夫」「分かるように」などの言葉に着目させながら、指名読みで各過程の読み取りにつなげていきたい。また、書く活動では、「さらに」などの接続語や「中心」という言葉を手がかりに、大切な点があるか考え、サイドラインを引いたり段落の内容をまとめたりする活動を行う。これらの活動によって説明文における「確かに読み取る力」をつけていきたい。

(2) 目標および評価規準

本時の目標	撮影、編集、原稿作成の過程で、大切な点や工夫している点を読み取ることができる。		
評価規準	各過程で、大切な点や工夫している点をまとめている。		
具体の評価規準	A	B	支援の手立て
	撮影、編集、原稿作成の過程で、工夫している点や大切な点を、板書などをもとに、言葉を補いながら、自分の言葉で書いている。	撮影、編集、原稿作成の過程で、工夫している点や大切な点を、教科書や板書の言葉を使って書いている。	「工夫」「分かる」などの言葉に着目させ、その前後から工夫している点や大切な点を見つけさせる。

(3) 展開

段階	学習活動		予想される児童の反応	指導上の留意点
	学習の流れ	主発問等		
つかむ5分	1 本時の課題を確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> ニュースが放送されるまでの過程で大切な点を読み取ろう。 </div>		<ul style="list-style-type: none"> 前時を想起させながら教師側から提示する。 ノートに書かせる。
深める 35分	2 本時段落を読み、学習課題を解決する。 (1) 7～11段落を音読する。 (2) 7段落で大切な点を読み取る。 (3) 8～10段落で大切な点を読み取る。 (4) 11段落で大切なことを読み取る。 (5) それぞれの過程で大切なことをまとめる。	前の時間で大切な点とはどのようなことでしたか。 今日読むところに出てくる漢字を確認します。 工夫している点に注意して音読しましょう。 取材結果をもとに、会議で確かめたことは何ですか。 さつえいでの工夫は何ですか。 編集で大切なことは何ですか。 原稿作成で大切な点は何ですか。 放送で大切なことは何ですか。 さつえい、編集、原稿作成で大切な点をノートにまとめましょう。	<ul style="list-style-type: none"> 疑問を中心にする 正確に取材すること 取材結果、映像、編集、観測結果、放送用原稿、出演 どのような内容を<u>中心</u>に伝えるか。 誰にインタビューするか、どこをさつえいするか。 <u>目で見て分かる</u>ような工夫。 <u>答えが分かる</u>ように編集。 <u>耳で聞いて分かりやすい</u>ようにする。 ひと目で分かるようにする。 デスクやディレクターが、もっとも伝えたかったことで結び。 さつえい...目で見て分かるように工夫する。 編集...疑問の答えが分かるように編集する。 原稿作成...耳で聞いて分かりやすく、ひと目で分かるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時も前時と同じようにスタッフの工夫を読みの視点とすることを確認する。 ニュース番組の過程に関わる語句を中心に読みを確認し、見通しをもたせる。 指名読みをさせる。 挙手で発表させる。「確かめました」「決めました」などの語句に着目できるようにする。 大切なことを探して、教科書にサイドラインを引かせる。 「工夫」「中心」「分かるように」などの語句に着目させながら、一人で探せるように支援する。 もっとも伝えたかったことを本文で確認する。 <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> キーワードや板書したことをもとに、文章でまとめることができる。【ノート】 早く書けた児童には黒板に書かせる。
味わう 5分	3 本時の学習を振り返る。 4 次時の学習内容を確認する。	まとめの音読をします。 振り返りカードを書きましょう。	<ul style="list-style-type: none"> 音読をする。 振り返りカードを書く。 発表する。(数名) 	<ul style="list-style-type: none"> 指名読みをさせる。まとめの音読をし、振り返りカードで自己評価する。 全文の要旨をまとめることを確認する。

(4) 板書計画

ニュース番組作りの現場から

清水 建宇

ニュースが放送されるまでの過程で大切な点を
読み取ろう。

会議… どのような内容を中心に伝えるか

さつえい… 目で見て分かるように工夫

編集 … 答えが分かるようにする
六時間 八分間
・ 歴史や観測結果
・ 住民の声

原稿 … 耳で聞いて分かりやすいように工夫
・ 結論 理由
・ 一文は短く(主述)

さらに
ひと目で分かる
・ 地図や表

放送 … もっとも伝えたいことで結ぶ

・ さつえい… 目で見て分かるように工夫する。

・ 編集 … 疑問の答えが分かるように編集する。

・ 原稿作成… 耳で聞いて分かりやすく、ひと目で分かるようにする。

(5) 紙板書

ニュース番組作りの現場から							
過程	大切な点、工夫						
話題決定	多くの人の関心をよぶ話題を選ぶ						
会議	取材することを決める						
取材	正確さ						
会議	中心に伝える内容を確かめる						
さつえい	目で見て分かるように工夫する						
編集	答えが分かるようにする						
放送原稿	耳で聞いて分かりやすいように工夫する						
放送	最も伝えたかったことで結ぶ						